

選たく ② お米をつくる仕事～農業の仕事(1)～

米作りのさかんなところ



南国市で米作りがさかんなのは、どのあたりだろう。

米作りの仕事について調べてみましょう。

南国市では温暖で夏に雨が多い気候や、広い平野を利用して古くから米作りがさかんに行われてきました。

二期作ってなあに

南国市では、暖かくて雨の多い気候を利用して、同じ田で米を1年に2回作っていました。そのことを米の二期作といいます。



先生の話

明治時代のおわりごろ（今からおよそ100年前）から、米の二期作がさかんにおこなわれるようになったんだよ。ところが、昭和45年ごろから、はたらいた分に見合う収入をえられないことや全国的に米があまりだしたことなどの理由で、国の方から「水田をたがやすことは休んでほしい。」などと言われるようになり、2回目の米作りをする人がいなくなってきて、いねを作る田もへってきたんだよ。

米作り農家をたずねて



田村や大桶、野田、篠原、里改田あたりの平地の部分に水田が広がっているね。

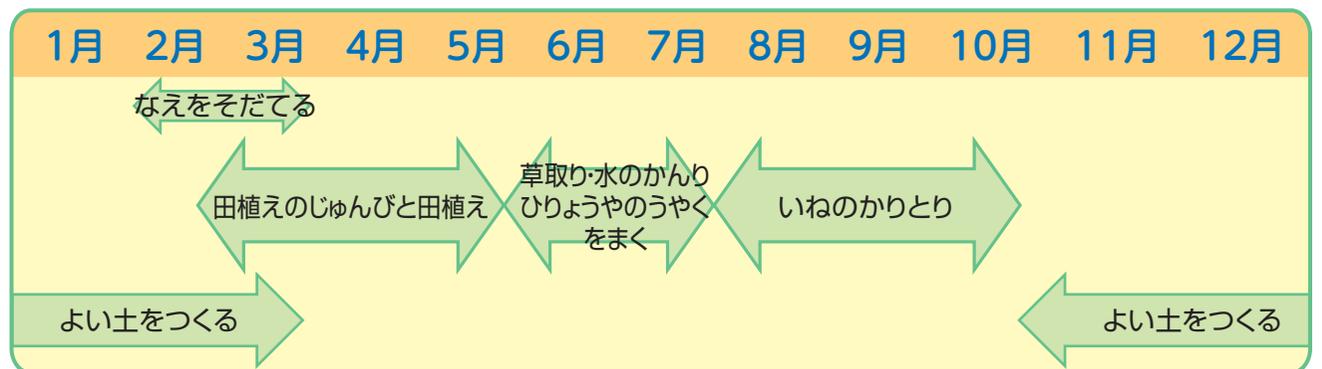
ぼくも、野田地区で田植えをしたり、かりとりをしたりしているのを見たことがあるよ。



田植え



かりとり



くみさんたちは、野田で米作りをしている農家をたずねて、米作りの仕事の様子などを聞きました。



のうか 農家のおじさん

よその県よりも少しでも早くとれるお米を作っ
て出荷しています。早場米を作りはじめたころは
なれていなくて苦労しましたが、だんだんなれて
きてうまくできるよくなるとうれしいですね。

また、早場米でなくても高知県で作られたお米
がたくさん売れるとうれしいです。今は、お米が
あまっている時代だし、米作りをついでくれる人
もへってきて、なかなかきびしい時代です。

早場米って なあに

高知では、暖かい気
候を利用して、ほか
の都道府県よりも早
く出荷できる米を作
っています。その米
のことを早場米と言
います。

ジェイエー

JAをたずねて 農家のおじ
さんの話を聞いたくみさん
たちは、JA南国市をたず
ねて、どんな仕事をしてい
るかきいてみました。



5

農家から米が出荷場へ運ばれ、コンテナに積まれて出荷



JA南国市 南国倉庫



米のけんさ

お米があまっている
なんて知らなかった。
ここで、お米の品質を
けんさしてるんだよ。

こうじ

JAのおじさんの話

JAではいろいろな仕事をしています。

米作りについての仕事と言えば、米作り農家の
人たちの仕事がしやすくなるように相談にのっ
ています。たとえば、お米が病気や害虫のひがいを
うけないようにするためには、どうしたらよいか
いっしょに考えたり、話し合ったりします。また、
米作りをやめてほかの作物を作る農家の人には、どんな作物を作るよ
うにすればよいかについての話をし、農家の人たちの生活がよ
くなるようにがんばっています。

リモコンのヘリコプターで農薬の散布をすることもあります。



四方竹作りを調べに
行ったとき、こんなかんばんを
見つけたよ。学校給食米
って、どんなお米だろう。

くみ



学校栄養士さんの話

わたしたちは、みなさんが安全な
給食を安心して食べることができる
ようにと願っています。そこで、
2000年（平成12年）4月より、南国
市北部の中山間地いきの棚田で作られている米を、
小学校と幼稚園で使うことになりました。この米
は主にヒノヒカリという種類で、10月にしゅうか
くします。南国市でとれた米が、南国市の学校で
使われることはとてもすばらしいことだと思います。

あげくら 棚田

棚田って なあに

山の多い日本では、昔
から平らな水田だけで
なく、山のしゃ面を利用
して米作りが行われて
きました。山のしゃ面
に作られた水田を棚田
と言います。棚田は、
土しゃが流れ出すのを
ふせぎ、地すべりをふ
せぐ役目もしています。
南国市上倉地区（奈路・
白木谷）には美しい棚
田が広がっています。